

動物実験に関する検証結果報告書

名寄市立大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2023年3月

2023年3月10日

名寄市立大学
学長 野村陽子 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 三好一郎



対象機関：名寄市立大学
申請年月日：2022年7月25日
訪問調査年月日：2022年10月27日
調査員：森松正美、佐々木崇

検証の総評

名寄市立大学は、1960年に開学した名寄女子短期大学を母体とし、2006年に開学された公立の4年制大学であり、栄養学科、看護学科、社会福祉学科及び社会保育学科で構成する保健福祉学部が置かれる。実験動物は2施設で飼養保管され、研究と教育のために動物実験が実施されており、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」及び環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」に則した「名寄市立大学動物実験規程（以下「動物実験規程」という。）」の下で、動物実験計画書の審査・承認、結果報告、教育訓練、自己点検・評価及び情報公開が行われている。また、飼養保管体制も動物実験管理者と実験動物管理者の下、衛生的な環境の維持に努められている。

実験動物管理者が日本実験動物学会の実験動物管理者等研修会に頻繁に参加して専門知識習得に努力していることや、学生入学時のアレルギー調査で必要に応じて動物アレルギーの注意喚起を行っていることは、動物実験を適正かつ安全に行う取り組みとして高く評価できる。

しかしながら、動物実験の実施体制や実験動物の飼養保管状況等の一部に改善の

余地が認められたため、これらについて機関内で検討され、動物実験及び実験動物の飼養保管体制のさらなる充実を推進されたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 □ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「動物実験規程」が 2020 年 4 月 1 日に制定・施行されており、その内容は基本指針及び飼養保管基準に適合している。従って、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見 動物実験規程は基本指針に適合しているものの、本文中で改行等の細かな体裁の改善の余地も認められた。公私立大学実験動物施設協議会が公開する最新の機関内規程（雛形）を参考に、内容を確認するとともに体裁を整えることを検討されたい。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 □ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性 名寄市立大学動物実験委員会は 5 名により構成され、基本指針が定める 3 要件の委員を含んでいる。従って、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は設置されていない。
4) 改善に向けた意見 動物実験規程第 6 条に「委員会の構成」等の記載があるものの、別に「名寄市立大学動物実験委員会規程」が定められていて一部の内容が重複している。また、この第 6 条第 2 項の記載よりも多い人数の委員が、他の項との兼任であるものの、実際に任命されている。これらの規程につ

いて確認され、記載内容の改訂等を検討されたい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験規程で動物実験計画の立案、審査、承認、終了報告等の手続きが規定され、動物実験に関する各種様式が定められている。従って、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

動物実験規程の第12条（実施結果の報告）で「実験動物種等及び使用数報告書」（様式第7号）の提出を動物実験責任者に求めているが、同様式では管理者が提出者となっている。同様式に基づく規程は、第21条でなく第12条とすべきである。これらの動物実験規程と様式の字句等における整合性を再度確認されたい。また、「動物実験終了報告書」（様式第3号）の実験終了後の処置方法についても、現状にあわせて修正されたい。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「名寄市立大学組換えDNA実験安全管理規程」及び「名寄市立大学組換えDNA実験安全管理委員会」が整備され、関連安全管理規程の下で遺伝子組換え実験が実施されている。他に安全管理に注意を要する動物実験は実施されていない。従って、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。

該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

遺伝子組換え動物を用いる実験について、これを担当する委員会での確認状況を明確にするため、動物実験規程の「動物実験計画（変更・更新）承認申請書」（様式第7号）に組換えDNA実験安全管理委員会の承認が確認できる記載欄を設けることを検討されたい。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

実験動物の飼養保管施設は2施設であり、「名寄市立大学動物実験に関する飼養保管マニュアル」や「名寄市立大学動物実験施設緊急時対応マニュアル」が作成されるとともに、実験動物の飼養保管に関する知識と経験を有する実験動物管理者が配置されている。従って、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

「名寄市立大学動物実験施設緊急時対応マニュアル」に記載された「逸走時の対応マニュアル」を速やかに整備されたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

新入生を対象とした健康診断において、各種アレルギー調査を実施し、必要に応じて学生に動物アレルギーに関する注意喚起を行い、実験動物を用いた実習に臨ませていることは、特記すべき取り組みである。

動物実験を実施している教員が3名のみと小規模であるものの、これらの教員が適正な実施体制を構築して維持する努力がうかがえる。一方、各種規則等の制定や改定、動物実験計画書の審査や各種記録類の保管等を継続的かつ確実に遂行するためには、事務系職員の協力が不可欠であることから、この点の強化・改善が望まれる。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験委員会により適切に動物実験計画書の審査が行われ、それらの新規承認・変更・終了・結果報告についても適切に実施されている。また、飼養保管施設も適正に管理され、動物実験委員会による調査結果も保管されている。従って、動物実験委員会の活動状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>委員会の活動記録の文書保管について、委員である担当教員の電子メールとしてのみ保管されているものがあるが、委員会審議のプロセス等を、よりわかりやすくかつ確実に保管する方法を検討されたい。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>2021 年度は 6 件（すべて新規）の動物実験計画書の審査が行われ、学長承認されている。審査に関する動物実験委員会議事録も保管されており、次年度に継続された 1 件を除き、動物実験終了報告書の提出率は 100% である。従って、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験計画書での実施期間を複数年度とすることが可能となっているが、最長期間の制限等が規則等に明記されていないため、その明記について検討されたい。加えて、「動物実験の自己点</p>

「検票」の整備を検討されたい。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

遺伝子組換え実験を実施し、施設には必要な拡散防止措置が講じられ、適切な表示がなされている。組換えDNA実験安全管理委員会と動物実験委員会との情報共有もなされている。大型オートクレーブなどの法定点検が義務づけられている設備は設置されていない。従って、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

2021 年度は 2 か所の飼養保管施設が設置されていたが、1 か所は新型コロナウイルス感染症の影響により使用されず、他の 1 か所のみが使用され、実験動物の飼養保管は、「名寄市立大学動物実験に関する飼養保管マニュアル」に従って行われていた。従って、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

種別飼育室の確保、個体識別の改良、網底ケージによる飼育の場合の休息板設置の配慮、陰圧

飼育装置の導入や、教育目的で短期間使用される飼養保管施設における飼育室と実験室の分離を検討されたい。また、飼養保管マニュアルの充実を検討されたい。

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「実験動物飼養保管状況の自己点検票」による点検が実施され、エアコンの修繕等の施設維持管理が適切になされ、保守記録等も適切に保管されていた。また、各施設の温湿度管理記録と施錠及び入退出記録も徹底されていた。従って、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験実施者に対して基本指針や機関内規程に則した教育訓練が実施されており、実験動物管理者に対しては、日本実験動物学会の実験動物管理者等研修会に参加させて2名の教育が実施されている。従って、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>教育訓練の記録について、受講者名簿のみならず、講師名や教材の内容等もまとめて動物実験委員会として保管されたい。また、動物アレルギー対策と人獣共通感染症に関する教材を追加されたい。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
機関内規程や各種の様式、実験動物の飼養保管状況、及び動物実験に関する自己点検・評価報告書がホームページで公開されている。従って、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
外部検証の結果も速やかにホームページ上に公開されたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

栄養学の教育カリキュラムにおいて学生教育に対する教員の工夫や熱意が強く感じられ、この教育を継続するために動物実験の適正化を進めようとする関係者の姿勢は評価に値する。
--